

免疫チェックポイント阻害剤を使用後肺癌症例 に対して手術を受けた患者さんへ 研究協力のお願について

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2006年1月～2024年9月に免疫チェックポイント阻害剤を使用後に肺癌に対する手術を受けた患者さん。

2. 研究の概要

研究課題名 進行肺癌に対するICI投与後の肺切除～安全性と resectability～

研究期間 承認日 ～ 2026年3月31日

目標数 全体10例

免疫チェックポイント阻害剤使用後の肺手術症例の安全性と完全切除の可能性について検討し、進行肺癌の治療戦略を再考することを目的としています。

3. 研究の目的・方法について

免疫チェックポイント阻害剤による進行肺癌の治療効果向上が確認され、導入療法後手術としてだけでなく、salvage手術（救済手術）としても免疫チェックポイント阻害剤使用後の肺切除の増加が予想されます。免疫チェックポイント阻害剤使用後の肺癌手術の安全性と完全切除の可能性を検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療の際に得た情報を使用します。

臨床情報（術前；性別、年齢、組織型、最終投与から手術までの日数、PD-L1発現頻度、肺およびリンパ節のSUV値、治療効果 手術：術式、手術時間、出血量、術後在院日数、術後合併症 術後：病理結果、補助療法の有無、再発の有無）、予後

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された情報は、外部へ提供することはありません。

6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に

漏れることは一切ありません。

7. 研究組織

(1) 金沢大学における研究実施体制

	氏名	所属部局	所属分野等	職名
実施責任者	齋藤 大輔	附属病院	呼吸器外科	助教
研究分担者 (学内)	松本 勲	医薬保健研究域医学系	呼吸器外科	教授
	懸川 誠一	附属病院	呼吸器外科	講師
	寺田 百合子	附属病院	呼吸器外科	特任助教
	和田 崇志	附属病院	呼吸器外科	助教
	西川 悟司	附属病院	呼吸器外科	医員

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は研究費は使用しません。また、この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、金沢大学の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

9. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者 金沢大学附属病院 呼吸器外科 齋藤 大輔

相談窓口担当者 金沢大学附属病院 呼吸器外科 医局事務 坂野陽子

住所 〒920-8641 金沢市宝町13番1号

電話 076-265-2000 (内線 2354)